

## ▼シリーズ「CNCP 設立 10 周年を迎えて」

### 会員からの声 (3)

CNCP 通信は、2014 年 5 月号の発刊から毎月欠かすことなく発行し、今度の 4 月号(Vol.120)で、ちょうど 10 年になります。これを機に、現在の正会員と理事・監事の皆様から、お言葉をいただきました。CNCP の設立準備から関わってこられた先輩方も数多くいらっしゃいます。当時は振り返った話、思い出、お祝い、将来に向けた期待など様々。是非お目通しを。

【掲載は届いた分の 50 音順】

#### ●岩橋公男 (CNCP 理事/佐藤工業(株))

CNCP 設立 10 周年を迎え、関係者のみなさま、おめでとうございます。

昨年、縁あって理事になったばかりの新米です。CNCP という組織があり、型にはまった活動ではなく、純粋に土木の社会貢献を真剣に考えることができることに感謝をしているところです。私は、「土木」が、「現場」が大好きでこの業界に入って 33 年間、現場で働いてきました。皆様とは違った目線で、現場という前線での視点から参加できればと考えています。今後ともよろしく願いいたします。

#### ●大田弘 (CNCP 個人正会員/元 CNCP 理事/(株)熊谷組)

10 周年、おめでとうございます！山本卓朗さん、青山俊樹さんからお声が掛かり、設立メンバーの理事として名前を連ねました。当時は未だ具体的な活動や組織が議論の途上、特に財政基盤が乏しく、多くの課題を抱えた船出だったと記憶しています。

日建連活動で親交が深かった企業に呼びかけ、何社かに法人会員になって貰いました。総じて個社の社会貢献の PR に直接繋がることには熱心なのですが、土木界全体としての共生(ともいき)には心が及ばない時代であったと思います。世間から「土木技術は世界一」と評価されるも「業界地位」が高くない理由を垣間見ました。

今は生まれ故郷の富山で大半を過ごしています。「恩義、信義、大義といったお金には代え難い大切なことを社会の片隅に追いやった」我が世代の大罪を悔やみつつ、「黒部ダム」などの語り部もどきをやっています。

更なるご発展をお祈り致します。

#### ●奥田早希子 (CNCP 理事/一般社団法人 Water-n/インフラテクコン実行委員会)

CNCP 設立 10 周年、おめでとうございます。

私は業界紙記者として 11 年間、フリーになってからも水インフラ関係の記者活動を 20 年以上続けています。当然ながらインフラの未来に関心はありましたが、当時は「記者として」。それがとあることがきっかけで、一人の生活者としてももっと関心を持ち、関与しなければならないと思うようになりました。

ある日、家からほんの数メートルの所に困った様子の高齢のご婦人がいたので声をかけたところ「道に迷った」とのこと。名前を聞いても「分からない」、住所を聞いても「分からない」。警察に連絡しようとした時にご主人が来られ、無事に連れ帰られました。それがなんと、目の前の家だったんです！こんなに近所の方の顔も知らなかったのか、と愕然とするやら恥ずかしいやらです。これではいざという時に助け合うことはできません。何から何まで行政任せにしていけないと痛感した次第です。

CNCP ではこれからも、行政や企業、地域、生活者などが一緒にまちやインフラを守り・使い、価値を創造し続けられるようなきっかけづくりに取り組んでいきたいと思っています。

#### ●木村達夫 (CNCP 個人正会員/前 CNCP 監事/NPO 法人あそ地下足袋倶楽部)

エッ！ CNCP もう 10 年も立ったんだ。過ぎ去った過去の一昔は、アッという間のことだという事。CNCP の基礎を作るべく、5 年も前から活動していたワーキンググループの皆さんの思いもひとしおだと思っています。

設立時に合わせ、会の名称を決める時も、1～2の別名も候補にありましたが、圧倒的な数で CNCP に決定したのを記憶しています。

コロナ禍の前になりますが、会員の皆さんの投稿数から比べると、恥ずかしい限りですが、CNCP 通信へ数回、投稿したこともあります。

最後になりますが、何といたっても会員の皆さんの「CIVIL、築土構木、どぼく、ドボク」、土木「愛」には感激しています。

これからも健康第一で。

#### ●花村義久 (CNCP 個人正会員/元 CNCP 副代表理事/NPO シビルまちづくりステーション)

え！もう 10 周年ですか。私が NPO を立ち上げたのは、退職してその翌年 2015 年でした。当時公共事業に対する社会の目が厳しい時でしたが、NPO 法が確か 2008 年に公布され、この世界の道が開けて来たという期待が生まれた時でもありました。何を何処からどうやるか暗中模索でしたが、ただ社会の流れから、建設分野では従来の社会構造に対し第 3 セクター的な存在が必要であるということは、漠然とはありますが感じ取れました。

中央集権から地方分権によるまちづくりを NPO 活動として模索する中、建設に対する一部の否定的なとらえ方から「市民参加」、そして「市民協働」という認識の変化が生じてきました。ただ、建設分野はスケールが大きく、弱体な NPO 組織ではどうしようもないことは明白です。土木学会 100 周年の事業の一環としての CNCP の誕生は、このような状況の中で、われわれに光をさしてくれたことでもあります。

この組織は生まれた後も何度も塗り替えられ、組織は確実なものに磨き上げられました。私自身このような場を通じていろいろな方と出会い、貴重な多くの体験ができたことに大変有難く思っています。この多様化の時代、連携とこれを支えるプラットフォームの役割は、今後ますます、何にも代えがたい存在となっていくのではないのでしょうか。

#### ●林康雄 (CNCP 法人正会員/(一社)未来のまち・交通・鉄道を構想するプラットフォーム)

未来構想プラットフォームを代表して、この度のシビル NPO 連携プラットフォームの設立 10 周年に、お祝いを申し上げます。

CNCP 設立の趣旨に記されたとおり、「行政や企業、教育・研究機関、そして地域・市民組織とのパートナーシップを通じて、より良い地域社会の構築を目指す」という活動、とりわけ市民と土木を近づける取り組みに大いに敬意を表させていただき次第です。

弊会の活動範囲は皆さまよりもまちや交通、鉄道に少し分野が特化していますが、真に必要な社会資本プロジェクトを議論したり、若手関係者への技術継承に取り組むなど、引き続き活動を進めてまいります。今後ご指導と交流をお願いして、お祝いの言葉とさせていただきます。

#### ●福林良典 (CNCP 法人正会員/NPO 法人道普請人)

CNCP 通信発行 10 年、おめでとうございます。建設系 NPO として、これからもともに成長していくことができればと思います。

#### ●依田照彦 (CNCP 個人正会員/元 CNCP 理事/早稲田大学理工学術院名誉教授)

シビル NPO 連携プラットフォームと土木学会のコラボレーションで開催されたオープンキャンパス土木学会 2019 のお手伝いをさせていただいた折、記念資料の展示コーナーで、展示品の説明者として CNCP の現在の事務局長である田中努様にご協力をいただいたことが強く印象に残っています。「話せばわかる」ではなく、「話せばわかる」を実感した瞬間でした。土木学会のオープンキャンパスの会場で、子供から大人まで土木を楽しんでいる様子は、CNCP の基本テーマ「土木と市民社会をつなぐこと」の具現化そのものでした。市民社会とともに歩む CNCP の活動がこれからも楽しみです。